



# KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB

2024. **12** 月号

鹿児島ワイズメンズクラブ No. 408

国際会長：A. Shanvaskhan [インド] より良い世界のために、共に  
Together for a Better World

アジア太平洋地域会長：Joan Wong [香港] 大きなインパクトを起こそう  
Make a Great Impact

西日本区理事：鵜丹谷 剛 [神戸クラブ] つなげよう地域と世界 YMCAとともに  
Connect Local and World with YMCA

九州部部长：大崎 隆 義 [熊本むさしクラブ] 始めからもう一度



みつかる、つながる、よくなっていく

鹿児島クラブ会長 新内 博之

## 11月例会報告

鹿児島ワイズメンズクラブ11月定例会は26日に国際交流センターで開催されました。今月は、卓話者に新内(俊昭)ワイズの元同僚(九州電力)の永森義明様をお迎えし、『ボランティア活動とわたし』という演題で実体験に基づいた貴重なお話を伺う事が出来ました。阪神淡路大震災をきっかけに、東日本大震災から熊本地震、九州北部豪雨など様々な被災地での活動をされ、その活きたお話を聴く事が出来ました。桜島の大規模噴火(大正噴火レベル)は20～30年以内に起こるといわれています。地震は日本中どこでも起きます。かねてより災害に備え、「自助」「公助」と共に「近助」が大切だ、ということ学びました。

「明日は我が身だぞ」ということを肝に銘じ、ワイズメンズクラブも今後のボランティア活動を再考するべき点多いようです。

鹿児島クラブ 中堀 清哲



TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT



年の瀬を迎え、初めての会長任期も早いもので折り返し地点となりました。今回は、今期の方針である「みつかる」「つながる」「よくなっていく」をなぜ設定したのかというテーマで寄稿します。

約7年前の2017年、全国のYMCAではブランディングについて話し合うことが始まりました。130年を超える歴史の中でYMCAは青少年育成活動や地域社会貢献活動を通して、YMCAの存在意義を広く社会の中で受け入れられてきたという自負があったと思います。間違いなく、YMCAは社会に貢献する社会教育団体として、中にいる人間は責任を持って活動していました。しかし、世間が捉えるYMCAのイメージや認識は必ずしも中にいる私たちの感覚と一致していなかった、これがブランディングについて考えていく中で見えてきた事実でした。当時の調査で見えてきた一つの答えとして、4000人の調査に対してYMCAがどのような団体なのか理解している人の割合はわずか36人、率にして0.9%という実態でした。YMCAスタッフがたくさんの時間をかけて、YMCAとはなんなのか、どんな思いで活動しているのか、何を大切にしているのか、といったことを話し合いましたが、話をしてみてスタッフですら簡潔にYMCAを説明することが難しいといえる状況でした。

そのような中で、YMCAとは何なのかと説明するための文章をまとめます。YMCAとはあなたにとってしたい何かを「みつける」場所であり、あなたにとって「つながりたい」という人がみつき、あなた自身の人生がもっと「よくなっていく」ために、YMCAはそのあなたにとってかけがえのない場所であるための活動をしているということをまとめました。私もスタッフの一員として社会の為に、未来の子どもたちのために頑張っていることを簡潔に説明するということかととても腑に落ちた思いになりました。

ワイズメンズクラブはYMCAを支えつつ、ワイズメンズクラブとしての理念を中心に社会に奉仕する団体として長い歴史を紡いできました。今年会長を仰せつかったときに、7年前に学んだときの思いがよみがえってきました。ワイズメンズクラブとは先に述べたあなたそのものの集まりなのだと思います。ワイズメンこそ、ワイズメンズクラブの活動を通して、したい何か「みつかっていて」、活動を通して素晴らしい仲間たちと「つながっていて」、活動を通して人生が豊かに「よくなっていく」を体験している人々の集まりであると思うのです。その視点に立って、クラブひとりひとりの「みつかった」経験、「つながっている」実感、「よくなっている」という気づきが増えるクラブ活動になっていければという思いと共に、下半期も頑張ろうと思います。引き続きよろしくお願い致します。



ブランディング動画



忙しい最中にも、ふと目にする紅葉に心がほっとする季節もつかの間、日増しに寒さも増し、いよいよ本格的な冬の到来間近となりました。早いもので今年度前期最後の理事通信となり、月日の流れの早さを身にしみて感じます。11月をもって8つの部会も終了し、来年3月開催の西中国部部会を残すのみとなりました。

10月26日の中西部部会は、大阪らしく賑やかで和気あいあいとした部会でした。山下邦義さんの木造建築耐震化のお話、大阪YMCA山根一毅さんによる被災地支援のスピーチは、二重被災による復旧・復興途上の能登半島を考える上で大変為になるお話でした。また、大阪YMCA留学生による、東南アジア孤児支援活動の取り組みのお話には感銘を受けました。

11月2日の六甲部部会は100周年となる甲子園球場近くで開催。作家玉岡かおるさんによる基調講演では、賀川豊彦氏と夫人ハルさんの時代を先取りした、先進的な社会活動の取り組みと功績、そ



して何よりその並外れた情熱と行動力の凄さに心が大きく動かされました。

9日には前期最後の瀬戸山陰部部会が岡山で開催され、ユースアクション 2024 プログラムでもある街中落書き消去が、YMCA せとうちのユースリーダー主導で行われました。ユースと歌い、語らい、大変有意義な交流の時でした。その後、岡山教会で礼拝も行われ、他の団体にはないワイズの特性が多いに活かされた部会の持ち方には大変勉強になりました。

ユースとの接点では、もう一つ大変うれしいことがありました。ドバイでの IYC へ西日本区から参加のユースを空港で帰国お出迎えの時、満面の笑顔でわいわい話しながら現れた姿を見た瞬間、本当にすばらしい経験をしてきたことが一目でわかり、我々も嬉しく思いました。また皆さんの報告を楽しみにしたいと思います。

また、2年に一度開催の日本 YMCA 大会(東山荘)にも参加をしました。「全国 Y の日本一自慢～もう始めています!世界 YMCA Vision2030』と題した各 Y ユースリーダーによるアワード大会では、ユースが集まり、つながるだけでなく、社会課題に積極的に、そして楽しく取り組む様子は大変印象に残るものでした。我々のユース時代の活動より、今日的な形へアップグレードした取組みの一つと感じました。投票の結果、ユースアクション 2024 でも支援中の盛岡 YMCA 子どもの人権チームが、最優秀賞に選ばれた事は大変光栄でした。

そして、23-24日には西日本区次期役員研修会が開催されました。中井信一次期理事より、主題『世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう!!』と方針を発表のもと、次期役員の方々からも、我々が国際協会の会員である事や、ユース支援への取り組み強化など、今期フォーカスをしている取り組みが、更に来期へも連なっていくメッセージが伺え大変心嬉しい限りです。我々の活動が、未来に向けリーダー開発を助長し、世界の課題に取り組む動きとして広がっていくことを期待したい次第です。世界を見渡せば決して安寧とは言えない一年でした。12月はいよいよクリスマス。仲間が集い、世界の国や民族の平和と心の平安を願いながら、一時でも穏やかで楽しい祝会が多く開催される事を願います。

11

November

## 11 月例会報告

日 時：令和6年11月26日(火) 19:00 ~ 20:30

場 所：鹿児島市国際交流センター

出席者：12名

司会者：中堀ワイズ

### 11 月例会の記録

|        |      |
|--------|------|
| クラブ在籍者 | 9名   |
| 出席者    | 9名   |
| メネット   | 1名   |
| コメット   | 1名   |
| ゲスト    | 1名   |
| ビジター   | 0名   |
| メイクアップ | 0名   |
| 11月出席率 | 133% |

### 今月の聖句

「見よ、おとめがみごもって男の子を産むであらう。その名はインマヌエルと呼ばれるであらう」。これは、「神われらと共にいます」という意味である。 マタイによる福音書 1章 23節

鹿児島ワイズメンズクラブ  
WEBサイトはこちら▶



### 今月の樹

#### モミジ・カエデ



#### もみじ(紅葉)・かえで(楓)の違いと見分け方

私の住む牧園町・高千穂付近は11月末から12月初旬が紅葉のピークです。皆さんは『モミジ』と『カエデ』の違いがわかりますか。実は、もみじもかえでも、同じ「カエデ科カエデ属」。つまり親戚みたいなモノなので、見間違うのも無理はないのですが、違いを見分ける方法としては、主に葉の切れ込みの深さで分かります。モミジなのですが、葉には深い切れ込みが入っています。

5~6個の切れ込みが入っていて、葉が6~7枚になっているものがもみじ。左のの写真は「いろはもみじ」といい、一番なじみのある樹でしょう。それに対し、左下の写真のカエデは「ハウチワカエデ」といい、切れ込みは浅く葉先が9~11枚と多いのが特徴的なカエデです。楓にはこのほかに、カナダの国旗に描かれているような特徴的な形の「サトウカエデ」など、細かく分類するといろんな種類が沢山あるようです。

最近では地球温暖化のせいか、二週間ほど色付きも遅く、色は紅くなり切らずに黄色や橙(だいたい)色が多いですね。



## 第 15 回鹿児島 YMCA

### インターナショナル・チャリティーラン 2024

15 回という節目を迎えた、チャリティーランが 12 月 7 日（土）に鹿児島ふれあいスポーツランドにて無事開催されました。当日は 140 名を超す参加者が、1/100 マラソン、リレーマラソン、ウォーキングサッカーを楽しみ、参加した YMCA チアダンスファミリーで演技披露しました。

たくさんの企業にもご支援ご協力を賜りました。実行委員会のメンバーとして、南国殖産、日本ガス、カクイックス、洵上印刷といった法人賛助会企業、鹿児島ユナイテッド FC の職員の方々などが参画し、企画段階からお手伝いいただきました。また法人賛助会企業を中心に物品や広告協賛、ご寄付などのご支援をいただき、総額 466,500 円のご支援が集まりました。



鹿児島YMCA 新内 博之